

2023 年度
京都精華大学大学院
マンガ研究科 博士後期課程
入学試験問題

外国語

時間 13:00～14:00

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子や筆記用具に触れないでください。触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。
2. 試験中の使用が認められたもの以外は、すべてカバンに収納すること。使用用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（小型のもの）とします。
辞書の使用が可能です。ただし電子辞書は除きます。
3. 携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダーなどの電子機器類は、必ず電源を切ってから、カバンに収納すること。
4. 試験開始の合図により、試験を始めてください。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の所定の欄に記入すること。
6. 試験終了の合図とともに直ちに筆記用具を置いてください。試験終了後に解答用紙や筆記用具に触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。試験監督者が指示するまで、絶対に席を立たないでください。
7. 問題冊子および解答用紙は、試験終了後にすべて回収するので、持ち帰ってはいけません。

以下は、マンガの描き方に関する書籍の冒頭部分に記述されている文章です。文章を読んで、設問(1)(2)に答えなさい。

ひとつ、あなたも漫画をためしに描いてみませんか。

近ごろの親は、いまどの雑誌にどんな漫画が載っているか知っている、子どもに、尊敬のされかたがちがう。

もっと尊敬される方法は、親が、漫画を描いてみせることだそうだ。

おなじようなことが、教師についてもいえる。いまや、漫画の博士で、漫画のイロハぐらい描けるということが、生徒や学生への手っとり早いコミュニケーション手段となった時代である。

父兄や、教師が、漫画を子どもからうばったり、かくしたりすることは、時代おくれになった。さらに、ヤングのあいだでは漫画を描き、見せあうことで、心のふれあいや交友のきっかけにしようとする人たちがふえている。漫画ファン大会なんていうものがある。何百人とヤングが集まることもあるが、その会場でなによりも重要な目的は、漫画を通じて全国の未知の同世代と交流することだそうである。

それでなくともわたしたちは、いやおうなしに四六時中漫画に触れているのだ。朝、新聞を見れば似顔漫画や広告漫画、道を歩けば漫画の看板、そしてテレビ CM にも漫画があふれ、わたしたちは、もう空気のように意識せずに漫画の中で生活しているのだ。

結局、おとなだって漫画が大好きなのだ。

[出典] 手塚治虫 (1977) 『マンガの描き方 似顔絵から長編まで』 光文社.

設問(1) 上記の文章の内容を、英語で要約しなさい (150words 以内)。

設問(2) 上記の文章の内容について、あなたの考えを日本語で自由に述べなさい (400 字以内)。